

令和7年度社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会事業計画

【基本方針】

本格的な少子高齢化・人口減少時代を迎え、社会を支える労働力の減少は、社会構造の変化をもたらし、国の存続をおびやかす大きな社会問題となっております。

全国社会福祉協議会では、令和6年度に「社会福祉協議会 基本要項2025」を取りまとめたところですが、基本要項2025の中では、社会福祉協議会が目指すものや、その特徴、強みを再確認し、自らの実践を振り返り、社会の変化に対応し、地域の実情に即した具体的な活動・事業につなげ、地域福祉を推進する団体としての責務を果たすことを強く意識したものとなっております。

これを受けて、気仙沼市社会福祉協議会（以下「本会」という。）は、地域生活課題に対応し、住民を主体とした福祉活動や地域のつながりづくりのほか、生活困窮者や権利擁護の支援、在宅福祉サービスの提供等に取り組んできましたが、近年、福祉分野を超えてさまざまな地域生活課題が広がっており、住民や幅広い地域の関係者と連携・協働し、協議体としての機能を発揮する必要があります。また、物価高騰や介護報酬改定、人材確保の課題等、本会を取り巻く環境が厳しさを増す中で、経営基盤を強化し、将来を見据え地域福祉を推進する中核的な団体としての責務を果たさなければなりません。

【重点目標】

1 法人の組織力向上による基盤強化

少子高齢化・人口減少により、社協財源の根幹である会費及び寄付金や共同募金配分金、行政からの運営費補助金、介護保険事業、自立支援事業等の収入は将来的に縮小していくことが推測されます。経営改善や人材確保・育成・定着支援、行政とのパートナーシップの構築、財源確保に向けて検討するとともに、経営基盤の強化を図りながら、持続可能な組織運営と事業が展開できるよう、経営状況の把握と透明性のある運営に努め、社会福祉協議会の使命を果たしてまいります。

また、東日本大震災から14年が経過し、法人事務所は未だ仮設事務所にて業務を行っている状況から、地域福祉活動の拠点の本設に向けて、関係機関と連絡、調整を密にしながら、施設の在り方について検討します。

2 地域福祉推進に向けた取り組み

誰もが住み慣れた地域で暮らせる「地域共生社会」の実現に向け、社協の立場から見た課題等を整理し、地域住民や行政、福祉団体等と連携・協働しながら事業を実施することが求められています。地域福祉を底上げするために、住民主体による福祉活動が重要となることから、研修会等を開催し人材の育成を図りつつ、本会で設置しているボランティアセンター機能を活用し、住民の福祉活動の支援に努めます。

また、全国的に災害が頻発しており、大規模災害に備える平時からの体制整備と被災地支援の体制整備が必要であることから、市内の団体との協力体制の構築、災害ボランティアセンターの設置・運営研修会の実施や必要に応じた職員の派遣等の調整を実施します。このほか、福祉教育の推進の

ために必要な取り組み内容とその方法などについて検討を行い、将来的な地域福祉の担い手育成について取り組みます。

3 介護保険事業・障害者福祉サービス事業の質の向上と運営

質の高いサービスを提供するに当たり、利用者への適切なサービスの提供が求められます。そのためには、職員一人ひとりが利用者の権利を擁護し、意思決定の支援に配慮する必要があります。また、事業所の継続に対し、専門職の確保も必要なことから、資格取得への支援や処遇の改善を行い、人材の確保と定着に努めます。

本会としては、地域の在宅福祉サービスを停滞させないよう収支バランスの取れた運営を目指すとともに、採算が見込めない事業については、資金確保に向けた検討を行い、更に事業の見直しやコスト適正化を推進します。

1. 法人運営事業

執行機関としての理事会、議決機関としての評議員会、業務執行及び財産状況を監査する監査会を実施し、それぞれの役割や責任を明確化し、本会の経営・運営の充実強化を図ります。

事業名	内 容
理事会及び評議員会の開催	・理事会 定例会を年3回開催し、法令や定款に基づき、業務執行上の重要事項を審議します。理事定数は、13名以上16名以内。 ・評議員会 定時評議員会及び定例会を年2回開催し、地域社会の総意をもって地域福祉を推進します。評議員定数は、28名以上33名以内。 当初予算額 405,000 円
監査会の開催	理事の業務執行や事業の健全経営や透明性を図るため、定例として年2回監事による監査を行います。監事定数は、3名以内。 当初予算額 168,500 円
苦情解決責任者及び第三者委員の設置	本会が提供する福祉サービスに対する苦情に適切に対応して、利用者の満足感を高め、利用者個々の権利を擁護するとともに、利用者の苦情を円滑かつ円満に解決します。また、研修会への参加等により、資質の向上を図ります。 当初予算額 15,000 円
評議員選任・解任委員会の適時開催	評議員に欠員等が生じ、各地区や団体からの推薦書が提出された際に、速やかに評議員選任・解任委員会を開催し、体制の整備を図ります。
委員会の開催	社協運営に関する意見を有識者等から徴するため、企画経営委員会、地域福祉推進委員会を開催します。

2. 地域福祉事業

地域福祉活動計画に基づき、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指すとともに、地域福祉活動の充実に努めます。

事業名	内 容
地域福祉活動計画の推進	・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進委員会を開催し、第4期活動計画で掲げた取組みの進捗状況の点検・評価・見直し等を行います。 ・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進連絡会議を開催（年2回）し、各地区社協から推薦された連絡会議委員により、第4期活動計画で掲げた具体的取組みの実施状況の点検・評価、事業推進に向けた連絡・調整等を行います。 ・住民懇談会等の開催を通じて、活動計画の推進に向けて、計画内容について分かりやすく市民の方々等に広報・啓発し、計画の理解と地域福祉活動への参加促進を図ります。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 403,000 円

地区社協活動への支援	・地域福祉の推進を図るため、地区社協会長会議を年４回開催し、情報共有と意見交換を行ないます。小地域福祉活動や生活支援体制整備事業等、地域での支え合い活動の充実に向け、中核となる地区社協の支援に取り組みます。 ・地域における福祉活動の推進に向けた研修等を開催するなどして地区社協活動の取り組みを支援します。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 416,000 円 ・地区社協が実施する地域・在宅福祉に関わる自主的な事業へ活動費を助成し、地域福祉活動の促進を図ります。 当初予算額 法人運営事業の内 2,199,000 円
小地域福祉活動の推進	誰もが地域の中で安心して生活ができるよう住民同士が協力し、見守り、助け合い、支え合う小地域福祉活動の推進に努めます。また、生活支援体制整備事業と連携、協働しながら推進します。 ・地域の福祉課題や福祉活動の情報交換等により、地域課題の解決に向けた住民主体の支えあい活動につながるよう、地区社協主催による懇談会等の運営支援や話し合う場の機会提供に努めます。 ・市内全域のほか、地域が抱える課題解決に向けて、地域住民や関係者がそれぞれの役割を考え行動する機会となるようフォーラムを開催します。 ・地域福祉活動推進者研修を開催するなどしながら、地域活動の担い手確保及びリーダーとなる人材の育成に努めます。 ・市内のＮＰＯや市民団体等とのネットワーク構築に向け、それぞれの活動や現状を知る機会を得るための情報交換会を行います。 ・支援を必要とする方を近隣等で見守り支え合う、小地域福祉ネットワーク活動を推進します。 ・小地域福祉活動補助金を交付し、活動の円滑な運営を図ります。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 2,074,000 円
地域包括ケアシステムの構築と推進	構成団体と連携・協力し、地域包括ケアシステム構築に積極的に取り組み、気仙沼市地域包括ケア推進協議会で策定したアクションプランの推進を図ります。
広報・啓発	社協だよりやホームページ、ＬＩＮＥ等により、情報発信に努め、社協活動の啓発に努めます。 ・「気仙沼市社協だより」の発行 年６回（５月、６月、８月、１０月、１２月、２月）社協だよりを発行し（全戸配布）、地域活動の紹介や福祉サービスの情報発信を行うことにより、地域福祉の啓発と活動参画を促進します。 ・ホームページによる情報発信 ホームページを活用し、地域の福祉活動や福祉サービス、事業の紹介、ボランティア情報等幅広い分野の情報発信を行います。 ・ＬＩＮＥ等による情報発信

	タイムリーな情報発信手段として、LINEを活用した研修・講座や活動内容等の周知による福祉活動等への参加機会の拡大に努めます。また、LINE以外のSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用方法も検討し、積極的な情報提供に努めます。 ・オリジナルキャラクターによる啓発 社協オリジナルキャラクター「あかりちゃん」を様々な形で活用し、社協や地域福祉活動の啓発・推進に努めます。 当初予算額 福祉育成援助活動事業の内 3,128,000 円
社会福祉大会・表彰関連	各種表彰大会の被表彰者推薦や表彰決定者への通知などの連絡調整及び社協だよりによる受賞者報告を行います。また、必要に応じて市社協会長表彰の受賞に関する手続き等を行います。 当初予算額 社会福祉大会・表彰関連事業 187,000 円
本吉地域福祉まつり	誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けることができるよう、住民相互の支え合いと助け合いによる福祉コミュニティの再構築と共生社会の実現に向けて、住民が主体的に集い福祉を身近に感じ、理解を深めるとともに、それぞれの役割を考える機会として開催します。多世代が交流できるよう広く情報を得ながら企画し、振興会長や福祉推進員、その他関係機関と連携協働する中で、広く住民の社会参加を促進し支援します。 開催月：6月頃予定 当初予算額 福祉育成援助事業の内 321,000 円
高齢者交流会	高齢の一人暮らし及び高齢者のみの世帯を中心に、生活の質の向上と仲間づくりやつながりづくりの機会となる交流会等を実施します。 当初予算額 老人福祉事業の内 87,000 円
本吉地域ひまわり会交流事業	慣れ親しんだ地域で、世代間交流の機会づくりを推進するため、住民の実践活動を支援しながら交流会を実施します。また、新型コロナ発症以降停滞している本吉響高等学校と共同による、一人暮らし高齢者へ交流機会の提供と仲間づくりの新たな実施方法を検討してまいります。※令和6年度と同じ 実施月：独自開催 10月、3月 実施月：独自開催 10月、3月 当初予算額 老人福祉事業の内 175,000 円
障害者福祉の推進	・障害者福祉活動事業（交流事業） 障害者の社会参加を促進するとともに、地域の方々との交流を通して、相互理解を深め、専門機関と連携しながら、住み良い地域づくりの推進に取り組めます。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 141,000 円 ・点訳・録音サービス事業 視覚障がい者等への情報提供の一環として、ボランティアの協力を得ながら朗読テープの送付や点訳サービスにより、行政情報や地域福祉情報等の必要

	な情報提供に努めます。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 21,000 円
ガイドヘルパー派遣事業	視覚障がい者の社会生活範囲の拡大と福祉の増進を図ることを目的に、ガイドヘルパーの派遣を行います。また、連絡会を開催することにより活動者との連携強化に努めるほか、ガイドヘルパーフォローアップ講座を開催し、活動者の養成とともにスキルアップを図ります。 当初予算額 障害児者福祉活動事業 289,000 円
善意銀行の運営	市民からの多様な善意の預託を受け、地域生活支援及び住民参加による地域福祉の推進に資するよう効果的な活用に努めます。 当初予算額 470,000 円
屋内ゲートボール場の運営	管理運営委託先である気仙沼市ゲートボール協会と連携し、適切な施設の維持管理に努めるとともに、市民の健康増進とスポーツ振興及び福祉向上を目指します。 当初予算額 900,000 円
気仙沼市市民福祉センター管理・運営	気仙沼市市民福祉センター条例及び指定管理に係る基本協定書に基づき、社会福祉を目的とする市民相互交流及び高齢者並びに障害者の自立促進及び健康増進を図るため、本会と福祉団体等が連携・協働して事業を推進し、センターの効果的な活用とともに、施設の適正かつ円滑な運営に努めます。 当初予算額 17,880,000 円
気仙沼市唐桑保健福祉センター・気仙沼市福祉の里野外活動施設管理・運営	気仙沼市保健福祉センター条例及び気仙沼市福祉の里野外施設条例並びに指定管理に係る基本協定書に基づき、地域社会の健康増進と福祉の向上を図り、地域福祉及び地域保健活動の拠点として、施設の効果的な利用を促進するとともに、利用者が安心して利用できる環境を整えるため、施設の安全管理や設備の維持・点検に努めます 当初予算額 15,927,000 円

3. ボランティアセンターの運営

地域にとって新たな支え合いの担い手となるボランティア等への一層の支援や育成により、地域福祉活動の活性化を図ります。

事業名	内 容
ボランティアセンターの充実とボランティア活動の推進	ボランティア講座等を開催し、ボランティア同士の交流を通して福祉のまちづくりを進めます。 (1) 各種ボランティア講座・研修会等の開催 (2) ボランティア活動の支援 (3) ボランティアに関する広報・啓発の推進 (4) ボランティアの相談、ニーズ受付、調整、紹介、登録 (5) ボランティア活動安全対策 (6) 災害ボランティアの普及・啓発 当初予算額 ボランティア活動育成事業 2,438,000 円 ふれあいのまちづくり事業の内 366,000 円 ボランティアセンター事業 223,000 円

4. 福祉教育

市内小・中学校、高校を対象に、体験や交流活動を通じて福祉のこころを育むことを目的に福祉・ボランティア活動を推進し、児童生徒への福祉教育・学習機会を提供します。

事業名	内 容
福祉教育の推進	地域と連携した福祉学習の開催や、ボランティア活動体験等の支援を積極的に行うことで思いやりの気持ちを育み、地域で学び合う中で福祉意識の醸成と支え合う地域社会づくりに取り組みます。 ・福祉教育活動費補助金交付事業 学校で行われる福祉教育へ補助金を交付し、福祉教育、ボランティア学習を支援します。併せて、当該事業の活用促進に向けた交付要件等の検討と改訂を行います。 ・福祉教育関係者情報交換会 教育委員会等と調整を図りながら、福祉担当教諭等学校関係者と地区社協・地域福祉団体を対象とした情報交換会や研修会を開催し、福祉教育の一層の推進に努めます。 ・福祉教育推進にかかる職員派遣等 職員派遣及びボランティアの紹介、本会が所有する福祉体験用具等の貸出など、福祉学習機会の提供による福祉教育の推進に努めます。 ・敬老作文コンクール事業 市内の小学生を対象とした作文コンクールを実施し、児童の高齢者に対する敬老の心を育みます。 当初予算額 ボランティア活動育成事業の内 500,000 円 福祉育成援助事業の内 40,000 円 児童青少年福祉活動事業の内 330,000 円

5. 援護活動

支援が必要な世帯の生活の安定及び地域課題解決に向けた団体の活動が推進するよう支援します。

事業名	内 容
援護活動事業	市内で発生した住宅火災及び浸水被害による被災世帯に対し、その生活の安定に資するよう迅速な見舞金等の贈呈に努めます。 当初予算額 福祉育成援助活動の内 30,000 円
歳末たすけあい募金配分事業	気仙沼市共同募金委員会が実施する歳末たすけあい募金運動に寄せられた市民の善意を、住み慣れた地域で安心して暮らしていくための様々な支えあいの一助となるよう配分します。実施に当たっては、行政等と連携し、民生委員・児童委員及び地区社協等の関係団体の協力を得て、地域の課題に即した活動への支援等を行ないながら、募金の趣旨に沿えるような配分に努めます。 当初予算額 7,300,000 円
交通・海難等遺児に対する就学支援費の支給事業	交通事故・海難事故・労働災害及び病死（不慮の事故を含む。）により、扶養していた父母の一方または両方が死亡した満 18 歳以下の高校在学までの方に民生委員を通じ、就学支援費を支給することにより、相談しやすい環境づくりに努めます。 当初予算額 児童福祉活動推進事業の内 377,000 円

6. 生活支援・障害福祉事業

(1) 生活支援事業

住み慣れた地域で安心して生活ができるよう地域住民のあらゆる地域生活課題を受け止め、地域での生活支援に向けた相談・支援活動や権利擁護支援等に取り組みます。

事業名	内 容
ふれあい相談センターの運営	ふれあい相談センター（生活相談所）において市民の日常生活における困り事や心配事の相談を受けるほか、地域に出向いた移動相談会や専門相談会を開催し、気軽に相談できる場の提供を行います。また、相談所機能の活性化を図るため、実施体制の見直しも含めた検討を行います。 ・ 気仙沼地域 気仙沼市社会福祉協議会本所にて、月曜日から金曜日（木曜日を除く）午前9時から午後3時まで開設します。 ・ 本吉地域 気仙沼市社会福祉協議会本吉支所にて、毎週月曜日午前9時30分から午前11時30分まで開設します。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業内 1,435,000 円
生活福祉資金貸付事業	宮城県社会福祉協議会から「生活福祉資金貸付事業」を受託し、低所得世帯等の経済的自立と生活の安定が図られるよう、生活困窮者自立相談支援事業所や担当民生員等と連携を図りながら、貸付に関する相談と必要な相談支援を行います。 事業活動収入当初予算額 12,993,000 円
生活安定資金貸付事業	低所得世帯に対し、緊急に必要な小口の生活資金を貸付けることで、生活の安定が図られるよう担当民生委員と連携し、世帯の自立支援に努めます。また、担当民生委員と情報の共有を図りながら、償還への働き掛けと併せ、生活課題の解決に向けた取り組みを行います。 貸付金当初予算額 500,000 円
まもりーぶ気仙沼・南三陸（気仙沼・南三陸地域福祉サポートセンター） 日常生活自立支援事業	判断能力が十分でない方への定期的な訪問活動を通して、利用される個人の権利擁護と適切な福祉サービスの利用、日常的な金銭管理や書類等の管理をサポートし、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう支援します。 また、関係機関とのネットワークを活用した支援体制の構築や各事業所に対する本事業の理解を進めるとともに、専門員と生活支援員を積極的に雇用し、研修等を通して、地域の権利擁護人材の育成及びサポート体制の確立を図ります。事業実施主体である宮城県社会福祉協議会との事業の整合性を図りながら、地域で生活する利用者の権利擁護に努めます。 事業活動収入当初予算額 9,753,000 円

(2) 指定障害福祉サービス事業

障害者総合支援法等の関係法令を遵守し、気仙沼市障害者通所施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市及び近隣市町村に居住する障害のある利用者及び保護者の意思、人格を尊重し、心身の特性を踏まえた適切なサービスを提供するとともに、利用者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう適切な支援に当たります。また、職員研修を通して、職員の資質向上と法令遵守の徹底による適正な事業運営を推進します。

事業所名	内 容
気仙沼市松峰園 (就労継続支援B型事業)	利用者が自立した社会生活を営むことができるよう、生産活動や販売会、開所日等の活動の機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、指導を適切かつ効果的なサービス提供を図ります。利用率の向上を図るため毎月臨時開所日を設けるとともに、長期間休みがちな利用者に対して家庭訪問等の働きかけを通じて、利用を促すなど安定経営に繋がるように努めます。生産活動については、目標工賃達成指導員を中心に作業内容の見直しを図り、計画的な作業を実施し受託作業及び製造事業が安定した収益を上げられるよう努めます。また販売会などに積極的に参加し自主製品の販売を行い、支払工賃が増額になるように取り組みを図ります。 指定管理の最終年度となり、施設移転や施設経営の今後について、親の会と協議を持ちながら、今後も利用者主体のサービス提供に努めます。 障害福祉サービス等事業収入当初予算額 64,517,000 円
気仙沼市みのりの園 (生活介護事業)	利用者一人ひとりが安心して住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう、関係機関と連携を図り、施設での活動と経験を重ねることで自らが抱える問題の解決や生活の質の向上が図れるよう支援します。従業者は、障害者虐待や関係法令等を常に意識し、適切に対応するとともに、各種研修に参加し自己研鑽に努め、サービスの質の向上を目指します。新たな受注作業の開拓に努め、柔軟に提供しながら利用者の生きがいと通所意欲の維持に努めます。 余暇支援と家族のレスパイトケアを目的とした臨時開所を継続し、ニーズを聞き取りながら活動内容に工夫を重ね、利用者・家族の満足度向上に繋がります。各相談支援事業所や教育機関への情報発信を継続し、新規利用者の獲得と安定経営に努めます。 指定管理の最終年度となり、施設移転や施設経営の今後について、親の会と協議を持ちながら、今後も利用者主体のサービス提供に努めます。 障害福祉サービス等事業収入当初予算額 42,420,000 円

気仙沼市マザーズホーム (児童発達支援)	障害特性や年齢に配慮し、個人ごとの発達課題を見極めながら、身近の自立に向けた身体作りや手先の器用性を高める活動に重点を置いて取り組み、集団生活での適応能力を育てるように努めます。また、並行保育先や保健師と連携を図りながら、保護者支援や兄弟支援にも心掛け、安心できる療育の場の提供に努めます。 障害福祉サービス等事業収入当初予算額 26,608,000 円
気仙沼市マザーズホーム (放課後等デイサービス)	子どもの自己選択や自己決定を促し、それを支援するプロセスを大切にする取り組みを行います。学校休業時の活動では、豊かな生活が送れるような活動を提供し、友達と関わりながら、葛藤を調整する力、主張する力、他者との折り合いを付ける力が育つように取り組みを図ります。また、地域で自分らしく生活できることを目指した支援に努めます。 障害福祉サービス等事業収入当初予算額 26,734,000 円
気仙沼市マザーズホーム (保育所等訪問支援事業)	訪問先施設（保育所・幼稚園・認定子ども園・小中学校等）や保護者との信頼関係の構築に努め、子どもの成長・発達を共に喜び合えるような支援を行います。集団生活への適応をサポートし、子ども達がより良い環境で成長出来ることを目指し、保護者・訪問先施設の職員、障害のある子どもが地域で安心して生活していけるような支援に努めます。 障害福祉サービス等事業収入当初予算額 7,529,000 円
気仙沼市マザーズホーム (宮城県障害児等療育支援事業)	地域マネジャーを配置し、障害児者の中核的な相談機関としての役割を担うよう努めます。医療機関・教育機関や他の関係機関との更なる連携を図り、相談支援、地域巡回支援、研修会の開催及び家族支援を行います。また、気仙沼市と連携し、ペアレント・プログラムにも取り組み、地域で身近な療育相談の場になるように努めます。 障害福祉サービス等事業収入当初予算額 10,440,000 円
松峰園相談支援センター (指定特定相談支援事業)	利用者及び保護者からの意思及び人格を尊重し、地域で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、心身の状況やその置かれている環境等に配慮しながら、本人及び保護者の意思を尊重した適切なサービスが提供できるように努めます。また、指定特定相談支援事業所間で一体的な管理運営を行い、地域全体で支援困難ケース等への積極的な取り組みを図ります。 障害福祉サービス等事業収入当初予算額 4,512,000 円
「つばさ」指定共同生活援助事業（介護サービス包括型）	利用者が地域で自立し安心した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況及びその置かれている環境に応じて、入浴、排泄、食事、通院などの日常生活の援助や相談を適切に行い、本人の意思決定支援と合理的配慮に基づいた支援に取り組みます。また、事故防止及び感染症対策を徹底し、安全安心なサービス提供に努めます。 障害福祉サービス等事業収入当初予算額 5,941,000 円
訪問介護ステーションからくわ	利用者の障害の特性に配慮し、可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を継続できるように関係機関と連携を図りながら、良質かつ安心、

(居宅介護、同行援護)	安全なサービス体制の充実を図ります。また、事故防止の徹底と感染症予防対策に取り組みます。 障害福祉サービス等事業収入当初予算額（居宅介護） 9,714,000 円 障害福祉サービス等事業収入当初予算額（同行援護） 210,000 円
ヘルパーステーションもとよし (居宅介護、同行援護)	住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるよう、利用者一人ひとりの要望を丁寧に聞き取り、真のニーズを見つけ出し対応できるよう、研修等に力を入れ、専門性が高いきめ細やかなサービスが提供できるよう努めます。 感染症対策についても適切な衛生管理を徹底し、利用者及び家族、職員も安心して過ごせる環境を整えます。関係機関との連携を密にし、サービスへの理解が広がるよう啓発活動に取り組みます。 障害福祉サービス等事業収入当初予算額（居宅介護） 5,000,000 円 障害福祉サービス等事業収入当初予算額（同行援護） 3,600,000 円

(3) 地域生活支援事業

障害者総合支援法を遵守し、気仙沼市障害者地域生活支援事業実施規則に基づき、重度の障害を持つ方への移動入浴車による入浴サービスを提供します。

事業所名	内 容
訪問入浴サービスもとよし（身障）	気仙沼市障害者支援センター等と連携を取り合い、利用に向け周知を継続します。様々な身体状況やニーズに対応できるよう研修等を活用し、利用者と家族の意向を尊重した適切なサービス提供を行います。安心して快適に入浴していただけるよう衛生管理を徹底し感染症予防に努めます。 障害福祉サービス等事業収入当初予算額 150,000 円

7. 在宅福祉事業

(1) 在宅福祉事業

誰もが安心して地域で暮らせるように、地域関係者の協力、連携の下で定期的な訪問等により、高齢者世帯等の介護予防を視点に置いた支援に努め、地域包括ケアシステム構築を進めます。

事業名	内 容
移送サービス事業	家庭外へ移動困難な方や車両の確保が困難な方等に対し、リフト付ワゴン車の貸出行います。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 334,000 円
在宅ふれあい型交流事業	地域で暮らす高齢者等の孤立予防のため、交流事業を定期的実施する地区社協等の地域団体に対し、補助金を交付します。また、配食等訪問型の事業による地域での見守り活動を推進するため、取り組みの呼びかけや提案を行いながら、住民同士が支え合う地域づくりを推進します。 当初予算額 老人福祉活動事業の内 669,000 円
安否確認訪問サービス事業	見守りが必要な一人暮らしの高齢者世帯及び高齢者のみの世帯へ乳酸菌飲料の配達による安否確認を行います。 当初予算額 安否確認訪問サービス事業 54,000 円
介護機器貸出事業	緊急を要する要介護世帯や福祉活動を行うボランティア団体、福祉教育の場等に福祉用具を貸し出し、在宅生活の支援、地域活動及び福祉教育活動の企画や参加を促進します。 当初予算額 介護機器貸出事業 23,000 円

(2) 指定介護保険事業

介護保険に関する法令等の趣旨に従い、介護又は支援を要する高齢者等が可能な限り在宅生活が送れるよう、利用者の尊厳に基づいた適切なサービス提供に努めます。

法制度の遵守と併せて地域福祉推進という本会の使命や公益性に根ざし、さらには事業の採算性に留意するとともに、サービスの質を左右する職員の資質向上に積極的に取り組み、効果的で効率的かつ安定した適正な介護保険事業経営に努めます。

①居宅介護支援事業

事業所名	内 容
一景島在宅介護支援センター	利用者一人ひとりの有する能力に応じ、自立した日常生活の営みを目的に常に利用者の目線に立ち、住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、適正な居宅介護支援サービスの提供を図ります。団塊世代の高齢化に伴い高齢者虐待防止等の地域課題への対応が予想されることから、関係機関、行政との更なる連携と情報共有に努めます。また、研修を通し自己研鑽に励み、介護支援専門員一人ひとりが運営基準に則った適正な事業運営を図り、法令遵守と安定した事業運営に努めます。 介護保険事業収入当初予算額 14,868,000 円

津谷居宅介護支援事業所	利用者の自立支援に向けて、介護保険事業と地域福祉事業の双方をつなぎ、医療との連携も積極的に行いながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、ケアマネジメント機能の充実強化に努めます。昨今、利用者を取り巻く環境にも支援が必要な場合も多くなっています。虐待防止、ヤングケアラー等、各種研修を積極的に受講し、社会資源やサービスを適切に活用し、生活全体を支援できるよう取り組みます。 より信頼される事業所を目指し、職員一人ひとりが自己研鑽に努め、法令を意識しながら更なる質の向上を図り、一連のケアマネジメントプロセスに基づいた適正な居宅サービス支援に努めます。 介護保険事業収入当初予算額 25,901,000 円
-------------	--

②訪問介護事業

事業所名	内 容
訪問介護ステーションからくわ	利用者の尊厳のある生活を継続していくために、利用者一人ひとりに寄り添い、ケアの充実や質の向上を図りながらサービス提供に努めます。 また、円滑な業務の遂行と効率化を図り、地域や関係機関と信頼関係を構築するとともに、職員の働きやすい環境づくりに努めます。 介護保険事業収入当初予算額 18,774,000 円
ヘルパーステーションもとよし	住み慣れた地域や在宅で安心して生活が継続できるよう、利用者及び家族の意向や意思を尊重し、可能な限り自立した日常生活が営めるように支援します。多様なニーズに対応できる知識と介護技術のスキルアップを図るため、研修内容、マニュアル等を充実させ、効率的で効果的かつ安定したサービス提供に努めます。各関係機関との連携を強化し、利用者及び家族、職員も安心して過ごせる環境を整えます。 新規受け入れについても、情報を確認した上で可能な限り受け入れられる体制を整えていきます。 介護保険事業収入当初予算額 39,600,000 円

③訪問入浴介護事業

事業所名	内 容
訪問入浴サービスもとよし	住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、利用者及び家族の思いに寄り添いながら支援します。医療や他事業所との連携を密にし、きめ細やかで質の高い丁寧なサービス提供に努めます。様々なニーズや病状、身体状況に対応できるよう研修を活用し、また情報共有しながらより良いチームケアに努めます。安心して快適に入浴していただけるよう衛生管理を徹底し感染症予防に努めます。利用者及び家族、職員も安心して過ごせる環境を整えます。 介護保険事業収入当初予算額 18,600,000 円

④通所介護事業

事業所名	内 容
気仙沼市燦さん館デイサービスセンター	利用者の心身の状況、生活環境、本人及び家族の希望等を尊重して作成した介護計画書に基づき、利用者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう努め、家族の精神的、身体的負担軽減を図ります。 市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の基本理念に基づき、「高齢者が住み慣れた地域で、介護・医療が必要になっても、地域で支え合いながら、安心して暮らし、自分らしく生きることができる！」よう気仙沼・唐桑地域の保健・医療・生活支援等地域の多様な主体と連携し、高齢者を支えながら質の高いサービス提供を行い、利用者や家族から選ばれる事業所を目指します。新規利用者を確保するため、包括支援センター、居宅介護支援事業所にセールスを行い、地域の各家庭の介護状況を把握しながら、サービスが必要であればケアマネージャー等に情報提供を行い、新規の利用者確保に努めます。 介護保険事業収入当初予算額 72,155,000 円
やすらぎデイサービスセンター	令和7年2月から地域密着型通所介護事業所に移行したことから、地域の特性を活かしたサービスを提供するとともに、利用者のニーズに合わせて柔軟に対応できるよう、一人ひとりの支援に努めます。また、外部との連携を更に充実させ、選ばれる施設になる環境づくりを行い、利用者様とご家族から「安心」「信頼」のおける施設と感じていただけるよう努めます。 引続き、様々な感染症対策と一人ひとりの健康状態の把握に努め、在宅で暮らす利用者の方が安心して通うことのできる場の提供を行います。職場として心身ともに健康でやりがいを持って働ける環境を整備し、地域住民に愛される魅力のある施設づくりを目指します。 介護保険事業収入当初予算額 43,979,000 円
大谷デイサービスセンター	利用者がその有する能力に応じ自立した生活を送れるよう、ニーズに沿って選択できる活動と機能訓練を提供し、利用者の心身機能の維持向上と介護者の負担軽減を図ります。 喜びや満足感が得られ社会的孤独感が緩和されるよう、地域の団体等と連携して交流活動の機会を増やしていきます。 内外の研修に積極的に参加してスキルアップの向上に努め、相談窓口として気軽にご利用いただけるよう周知を図り、関係機関と連携しながら対応するとともに、柔軟に体験等を受け入れ、地域に開かれた事業所となるよう地域貢献にも努めます。 介護保険事業収入当初予算額 32,744,000 円

⑤認知症対応型共同生活介護事業

事業所名	内 容
グループホーム 桑の実	認知症を持った方でも、これまで通りの生活を住み慣れた地域の中で、安心して送ることができる支援を行うとともに、これまで蓄積した認知症の専門知識と地域の資源を活用し、地域社会に根差した施設運営に努めます。 さらに、気仙沼市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の理念に基づき、本人の意思を尊重し、権利擁護に努め、自立した生活を続けられるように、その人が自分らしく生き生きと生活ができる支援に努めます。 また、物価の上昇によりさらに厳しい事業運営となりますが、事業内容の効率化とコスト削減を行い、安定した経営を目指します。感染症対策についても引き続き高い意識で感染予防に努め、入居者や家族が安心して利用できる施設づくりに努めます。 介護保険事業収入当初予算額 43,773,000 円

⑥福祉用具貸与事業

事業所名	内 容
もとよし福祉用具貸与事業所	効果的に利用者の自立支援や介護者の負担軽減につながるサービス提供に努めます。多職種連携により、利用者に適合した福祉用具の選定を行い、利用者確保に努めていきます。 介護保険事業収入当初予算額 16,445,000 円

⑦特定福祉用具販売事業

事業所名	内 容
もとよし福祉用具貸与事業所	福祉用具貸与事業と一体的に事業を実施することにより、貸与事業だけでは補いきれない利用者ニーズを補うことで、利用者ができる限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう質の高いサービス提供に努めていきます。また、法改正による一部福祉用具の貸与と販売の選択制の導入による対応も行い安定経営に努めていきます。 ※前年度と同じ 介護保険事業収入当初予算額 946,000 円

8. 気仙沼市受託事業

気仙沼市との連携を密にし、さらなる受託事業の充実強化に努めます。

事業名	内 容
配食サービス事業	見守りが必要な高齢者に対して、定期的に訪問し食事を提供しながら安否確認を行います。また、定期的に利用者のモニタリング及び市担当課との話し合いを行いながら、より良いサービス提供に努めます。 当初予算額 3,719,000 円
生活支援体制整備事業	互助を基本とした地域の多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を推進するとともに、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、支え合いの体制づくりの充実強化を図ります。地域支え合い推進員(本会職員)と地域支え合い協力員(地区住民)を配置し、支え合いの地域づくりを推進します。 ・継続的に地域活動や社会資源の把握を行いながら、地域住民や関係機関等と地域課題の共有及び解決に向けて取り組むため、第2層圏域(地区社協圏域)ごとに協議体(住民懇談会等地域での話し合いの場)を開催します。 ・住民向け研修会等の開催や広報等による発信により、地域における住民相互の支え合い活動啓発に努めます。 ・支え合い活動を支援するとともに、必要な担い手を養成し活動に参加できるよう工夫します。 ・地域団体、関係機関等とのネットワークづくりを行います。 ・高齢者の社会参加の機会拡大によるフレイル予防の促進に努めます。 ・地域支え合い協力員の確保と連携した取り組みに努めます。 当初予算額 生活支援体制整備事業 34,010,000 円
気仙沼市西地区高齢者相談室運営事業	気仙沼西地区の災害公営住宅及び防災集団移転団地において、高齢者等の生活再建や地域社会への復帰、自立生活を支援するため、計画的な巡回訪問による安否確認や見守り・声掛けを行います。また、コミュニティ行事等への参加勧奨等の支援により、高齢者等の閉じこもりや孤立の防止に努めます。 また、令和7年度で事業終了となることから、これまで以上に関係機関との連携を密にしながら、業務遂行に努めます。 当初予算額 12,884,000 円
気仙沼市鹿折・唐桑地域包括支援センター	唐桑地域及び鹿折地区の地域組織や関係機関との連携を強化し、高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活が維持できるよう、高齢者の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点機関として充実強化を図ります。「気仙沼市地域包括ケアシステム構築に向けたアクションプラン」に沿った取り組みを進めます。 ・総合相談支援については、関係機関と連携して支援体制を強化し、高齢者やその家族のニーズ把握に努め必要な支援に努めます。 ・高齢者の権利擁護について、高齢者虐待への対応や成年後見制度の活用等

	関係機関との連携や情報共有を強化し、継続的視点を持って支援に努めます。 ・「地域ケア会議」や「唐桑地域多職種連絡会」を通じて、地域の専門職や地域の関係者と連携しながら、高齢者の課題解決に取り組みます。 ・認知症施策として、「認知症サポーター養成講座」や「認知症カフェ」等を開催し、認知症の人と家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進します。 ・関係機関と連携し地域の「フレイル予防」に継続して取り組みます。 ・生活支援体制整備事業について関係者と連携して取り組みます。 当初予算額 29,478,000 円
気仙沼市本吉地域包括支援センター	・地域の高齢者の実態把握に努め、保健・医療・福祉・生活サービスや地域の支えあい活動などの地域における様々な活動を常に把握し、関係者・団体・機関との連携に努めます。 ・地域に暮らす高齢者が、自分らしい尊厳ある生活を継続できるよう、一人ひとりの意思を尊重し、自己決定支援をし、状況に応じ適切かつ専門性に基づく相談・支援に努めます。 ・地域住民の健康づくりや生きがいづくり、社会参加につながる介護予防の推進に積極的に取り組みます。 ・認知症の人やその家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進するため、認知症サポーター養成講座や認知症カフェ等により正しい知識の普及啓発を行い、地域ぐるみの理解促進を図ります。 当初予算額 26,788,000 円
生きがい活動支援通所事業	利用対象者のニーズ及び身体状況に応じきめ細やかなサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることの予防を図ります。 ・いきいき福寿草（気仙沼・唐桑地域） 13の集いを継続し、各集いの参加者が心身共に明るく健康的な生活を維持していくことができるよう、一人ひとりの生きがいづくりやフレイル予防に努めます。集い講師代表者会議の要望を汲み、活動開始時間を早めることによる時間の延長（午前みの活動）と、独自の福寿草講座に取組みます。すべての集いを対象にした「集い交流会」や「福寿草まつり」等を通して、新たな仲間とのつながりづくりを支援し、目標を持ち取り組む姿勢や達成感を大切に、興味・関心を広げながら楽しく社会参加する環境づくりに努めます。さらに、市内高齢者を対象に介護予防事業を開催し、健康に関心ある若年層の集客と、高齢期の健康保持及び介護予防の推進に努めるとともに、感染予防対策を継続しながら事業に取り組みます。 当初予算額 16,446,000 円 ・いきいきデイサービス（本吉地域） 慣れ親しんでいる地域の方々とのつながりを大切にした交流のほか、他地

	域との交流を通しての新たな仲間づくりや生きがいづくりが図れるよう活動内容を工夫し、要望も組み込みながら柔軟なサービス提供に努めます。 加齢に伴う運動機能・認知機能・日常動作の低下や突然の不調にも十分配慮し、安心安全に過ごせるよう努めるとともに、地域の人材も活用しながらフレイル予防を図ります。今後も必要に応じて地域包括支援センター等の専門職に繋ぎ連携して支援します。 当初予算額 7,372,000 円
家族介護者交流事業	高齢者を介護している家族に対して、介護者相互の交流を図り、介護者を介護から一時的に開放し、心身のリフレッシュを図ります。 また、交流等を通じて介護に対する課題の把握や解決に向けて支援します。 なお、市内6か所に設置されている地域包括支援センターと連携をしながら、より効果的な事業効果が得られるよう気仙沼市との事業実施方法の検討協議を進めます。 年4回実施予定（気仙沼地域2回、本吉地域2回） 当初予算額 701,000 円（うち交流事業分 629,000 円）
家族介護者教室事業	高齢者を介護している家族等に対し、家族介護教室を通じて、要介護高齢者に関する知識を学ぶことで、介護の負担軽減、状態の維持・改善を図り、在宅生活の質の向上を図ります。年2回開催予定。高齢者を介護している家族等に対し、家族介護教室を通じて、要介護高齢者に関する知識を学ぶことで、介護の負担軽減、状態の維持・改善を図り、在宅生活の質の向上を図ります。 年2回開催予定。 当初予算額 701,000 円（うち教室事業分 72,000 円）

9. 団体事務

各種団体の事業支援とともに、自主的に活動ができるよう体制整備を支援します。

事業名	内 容
気仙沼市共同募金委員会	共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）に対する住民の理解と協力がより一層得られるよう、様々な機会を活用した広報等の周知に努めながら、募金活動を推進するとともに、適切な配分と援護活動に努めます。
気仙沼市民生委員児童委員協議会	民生委員制度について、広く住民への理解を得られるよう周知に努めるほか、行政担当課と連携しながら事務手続き等を進め、各地区民児協運営の支援など民生委員児童委員活動の円滑な推進を図ります。 また、12月1日に一斉改選が行われることから、滞りない事務処理等に努めます。
本吉ブロック民生委員児童委員協議会連絡協議会	宮城県民児協が位置付けしている広域ブロックとして、南三陸町民児協との相互交流や連携を図り、ブロック内の民生委員・児童委員活動の活性化と相互交流を支援します。
気仙沼市老人クラブ連合会	高齢者の健康づくり活動等の活性化を目指し、各関係機関や団体等と連携した取り組み支援を進めます。 また、会員の減少・組織の弱体化が危惧されていることから、スムーズに後継者へバトンが渡せるよう、負担にならないリーダーの育成、強化の機会を設け、単位クラブ及び地区老人クラブの活動が円滑にできるよう支援し、活動の充実が図れるよう団体の適正な運営支援に努めます。
本吉町老人クラブ連合会	心と体の健康づくり、友愛活動、社会奉仕活動への積極的な推進と会員増強運動に取り組みながら、各関係機関や団体等と連携し、クラブ組織の基盤強化を進めます。また、実情に合わせた事業の再検討を図るとともに、若手リーダーの育成へ取り組み、また老人クラブ事業の充実を継続的に進め、会員が元気で生きがいある豊かな生活の実現ができるよう円滑な事業運営の支援に努めます。
本吉地区遺族会	気仙沼市遺族会との連携を密にし、英霊の顕彰と慰霊に関する事業、戦没者遺族の相互扶助、会員の各種相談及び援助に関する事業などを実施しながら、団体の適正な運営支援に努めます。※令和6年度と同様
気仙沼市ボランティア連絡会	自主的な会務等団体運営が図られるよう、ボランティア活動に関する広域的な情報の提供等に努めるとともに、構成団体の活動状況や課題等の把握により必要な支援等を行い、ボランティア活動環境の向上に努めます。
気仙沼市本吉地区小規模法人連携事業協議会	地域の様々な福祉課題の解決と地域福祉推進に向け、本吉地域内の4法人が連携・協働し地域貢献事業の一環としての協働事業の試行、事業実施に取り組みを推進します。 また、新たな加入法人の参入を積極的に呼びかけ協働のまちづくりを進めていきます。